

校内研修計画

甲州市立塩山中学校

- 1 学校課題 (主題設定に含む)
- 2 研究主題 「心豊かに、生きる力をはぐくむ教育の研究」
～学ぶ意欲を持ち、共に学び合う集団の育成を意図して～

3 主題設定の理由

本校は峡東地域の中核の一つ、甲州市塩山地区の中央に位置する。塩山地区は中央本線沿いから南に商業地域が拡充・形成され、そのまわりに農業地帯が広がっている。また、「甲州の鎌倉」といわれ、多くの神社仏閣があり、文化財に富んでいる地域でもある。県内にある5つの国宝のうち、4つがこの地域にあることからわかる。まさに、歴史と文化に満ちた地域である。子どもたちの教育環境はそれぞれ地区ごとに異なり、保護者の教育への考え方も多種多様であるが、押し並べて学校に対する期待は大きい。それは、保護者による学校評価項目の中の、学校教育に関する興味・関心、協力に関わる項の結果をみて、高い数値が出ていることから窺うことができる。

本校では、過去の指定研究である「国語力の向上に関する研究の推進」と「家庭・地域と連携した道徳的実践活動」をベースに、より良いものを求める心、より文化的で価値のあるものを求めよとする心、また日常生活の積み重ねを大切にす心の育成を図り、教育活動全般にわたりそれらをより強固なものにしてきている。

本県は学校教育指導重点のひとつに「確かな学力の育成」を掲げ、「学力向上対策事業」に取り組んでいる。その中で、学力の向上について、家庭学習の一層の定着をあげている。市教育委員会もそれを受け、「確かな学力」育成プロジェクトを昨年度立ちあげ、平成25年度までの2年間を取り組み期間としている。主体的に学習に取り組む態度の育成、思考力、判断力、表現力の育成、さらに学習意欲、学習習慣、家庭学習の課題点を洗い出して本市児童生徒の確かな学力の定着・向上を図るプロジェクトである。

現在の本校は、「学校は勉強するところ」であるという意識が全生徒に根付きつつある。全教職員の共通認識のもと、「学校は勉強するところ」の具現化を図るため、学習習慣の確立を中心に据え、学びに向かう上での基盤を身につけさせたい。「あいさつをする」、「さわやかな返事をする」、「人の話をしっかり聞く」、「時間を守る」といった塩中生「4つの規範」はその最たるものである。本校では、そういった基盤に対して、教職員の意識の一致した指導がなされているが、今年度もその継続とさらなる工夫を図っていきたい。

「学ぶ意欲を持ち、共に学び合う集団の育成」を図るための取り組みとして、昨年度までの研究を引き継ぎ、「集団力」をさらに高める方策を今年度の研究の方向性として提示したい。そして生徒一人ひとりが「自分が好き、仲間が好き、塩中が好き」になるための研究を今年度も継続していきたい。そのための視点を以下のように設定し、研究を進めたい。

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくり
- (2) 授業づくり、授業改善
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上

4 研究の具体的内容と方法

- (1) 意欲的に学ぶ集団づくりに関わって
学びの場として、基本となる授業規律のいっそうの確立
「Q-U(よりよい学校生活と友だちづくりのためのアンケート)の実施と分析・活用」
「話し合いのルール」を生徒会と連携して周知する
参考書籍の積極的な活用(35週35時間分編集の使いやすさ)
- (2) 授業づくり、授業改善に関わって
各種検査、試験の分析による生徒の実態把握と指導方法の改善
実技教科における指導目標の明確化
評価方法の検討
- (3) 学びの主体となる生徒の「質的」向上に関わって
学力向上への取り組み(家庭学習の習慣化とステップアップノートの活用)
道徳教育の充実による生徒の情操の育成
国語力向上の取り組みの継続
- (4) 研究授業の実施
上記(1)～(3)に対してそれぞれ研究授業を行う。
学活(集団づくりに関わるもの)
教科(各種検査、定期試験等から課題を挙げ、その改善を図るもの)
道徳(生徒の質的向上を意図した授業の創造)
今年度は全員が昨年度に引き続き「ステップアップ授業を」計画、実践するが、上記の3領域の授業(各学年で分担し、1本)と初任者のものは、指導主事を招いての研究授業とする。

年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任 柴田幸也

研究テーマ	教科領域	担当者	学年	授業予定日	TC要請
授業づくり、授業改善に関わる授業実践	教科	酒井理恵子	3 学年	7 月 4 日(水)	あり
意欲的に学ぶ集団づくりに関わる授業実践	学活	数野 透	1 学年	11月 7 日(水)	あり
学びの主体となる生徒の質的向上に関わる授業実践	道徳	水上陽介	2 学年	12月12日(水)	あり
本年度の校内研と初任者研修の成果を生かした授業実践	数学	荻原 崇	1 学年	2 月20日(水)	あり

校内研年間予定

回	月	日	曜	内 容
1	4	1 1	水	全体研究会 学年別研究会 ・年間研究計画について ・ステップアップノートのもち方について ・ことばの掲示板担当者の決定 ・授業者の決定
2	5	2 3	水	全体研究会 教科別研究会 ・ステップアップタイムへの各学年の取り組み ・NRTの結果分析と指導法の確認
	5	2 8	月	第 1 回h -QUアンケート実施
3	6	1 3	水	全体研究会 ・NRTによる生徒の学力の現状把握及び改善策（各教科から） ・指導案検討 ・「学びの集会」について
4	7	4	水	授業研究 学年別研究会 ・全体研究会(酒井先生の授業から) ・「学びの集会」について ・夏季校内研について ・定期テスト、復習確認テストの分析と夏休み中の課題設定
	7	1 1	水	「学びの集会」
	8	6	月	ブロック交流 甲州市内臨地研修
5	8	1 5	水	学年別研究会 ・Q U分析
6	9	1 9	水	学年別研究会 ・Q Uの分析結果をもとに指導方法の確認
7	1 0	2 4	水	全体研究会 ・指導案検討
8	1 1	7	水	授業研究 ・全体研究会(数野先生の授業から)
	1 1	9	金	第 2 回h -QUアンケート実施
	1 1	1 4	水	ブロック交流 ・北小「金銭教育公開」参加
9	1 1	3 0	金	全体研究会 ・指導案検討
1 0	1 2	1 2	水	授業研究 学年別研究会 ・全体研究会(水上先生の授業から) ・定期テスト、復習確認テストの分析と冬休み中の課題設定
1 1	1	1 8	金	学年別研究会 ・Q Uの分析と指導方法の確認
	1	2 3	水	ブロック交流 ・公開授業（塩中学区の小学校3 校来校）
1 2	2	8	金	全体研究会 ・指導案検討 ・研究紀要の分担について ・「学習の手引き」の見直しについて
1 3	2	2 0	水	授業研究 ・全体研究会(荻原先生の授業から) ・今年度の反省来年度の方向性